

知恩報恩

～受け継ぐ～

講話日程 入場無料

平成30年4月～平成31年2月の毎月第1金曜日

(1月はお休み、5月は第2金曜日)

13時～15時30分

● 13時～14時 信行会

● 14時～15時30分 講話

変更する場合もございますので
事前にお問い合わせ下さい。

4/6 (金) 暦(こよみ)とは



千葉県 西谷寺住職

三谷 恵乗 (みたに えいしょう)

毎年菩提寺さんから暦を頂くことがあると思
います。果たして皆様は暦を理解して活用され
ていますか。

暦について考えてみます。

5/11 (金) 4年間を振り返って



立正大学ラグビー部 女子セブンズチーム

中嶋 亜弥 (なかじま あや)

ラグビーでオリンピックを目指す道中では、
家族・コーチ・チームメイト・全ての人に助
けられ、感謝の気持ちを深く感じる日々でした。
女子ラグビーという馴染みの薄い競技をご紹
介しつつ、その4年間を改めて振り返ります。

6/1 (金) 三井の大黒



落語家 落語協会・真打

古今亭 菊龍 (ここんてい きくりゅう)

私達噺家は、師匠・先輩より芸を受け継ぎ、
そこへ自分の個性を加え、後進へと伝えて
行きます。雅楽・歌舞伎等と同様に、伝統
文化を継承している一員として、精進して
行こうと思っております。

7/6 (金) 北の大地・いのち大事



北海道 長遠寺住職・布教専修師

中村 啓承 (なかむら けいしょう)

大自然は「命の宝庫」であり「命の源」です。
でも、時には「人のいのち」を簡単に奪ってしま
います。物が豊かな社会だからこそ、私たちは
大自然を畏れ敬うことが肝心です。

8/3 (金) 龍華樹院日像上人ゆかりの『高題目』継承と普及について



石川県 本成寺住職

中山 観能 (なかやま かんろう)

高題目は、法孫日像上人が日蓮聖人の遺命たる
帝都弘通に向かう途路、能登の地で法難に遭う
も命を賭して上人を救った人々との別れを惜
しんで唱えた哀愁ある別れの御題目である。

9/7 (金) いのちの輝き



青森県 妙輪寺修徒

西村 花蓮 (にしむら かれん)

人生は「ありがとう」の積み重ね。人はみ
な、生かされて、生きている。
大切ないのちをいただいて、あなたはどの
うに生きていますか。

10/5 (金) 唱題の使命



福岡県 妙照寺住職

湯川 教修 (ゆかわ きょうしゅう)

さまざまな縁(えにし)の中で生きる私たち。
その生には必ず意味があるはず。その意味
とは、私たちがなさねばならない「使命」とも
言い換えることができるのではないのでしょうか。

11/2 (金) いのちに合掌 ～ほとける人に～



福井県 妙智寺住職・布教専修師

坂井 是真 (さかい ぜんじん)

ほとけ様は、決して遠い存在ではありません。
私たちがわたしに気づき、更にわたしからほ
どけた時《ほとけ》になります。
私たちが《ほとける》お話です。

12/7 (金) アマガエルの恩返し



栃木県 妙金寺修徒・布教専修師

野澤 朋世 (のざわ ほうせい)

昔々あるところに蛙の親子が住んでいました。あま
のじゃくな子蛙は親を困らせてばかり。そんな子蛙
の最初で最後の親孝行とは？！
昔話を通して日蓮聖人の報恩の心を尋ねてみます。

2/1 (金) 平成31年 死の向こう側



千葉県 徳蔵寺修徒・布教専修師

加藤 彰晃 (かとう しょうこう)

母があり、父がいて、人はこの世に生まれま
す。そして必ず死の時を迎えるのです。なぜ
生まれ、死ぬのか？仏教が説き明かす死後
を知り、生きる意味を知りましょう。